

## 国内IoTインフラストラクチャ市場予測を発表

Japan, 2020年6月17日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内IoT (Internet of Things) インフラストラクチャ市場予測を発表しました。これによると、2020年の国内IoTインフラストラクチャ市場 (国内IoTインフラ市場) の支出額は、前年比5.1%増の1,048億円になると見込んでいます。また、2019年~2024年の年間平均成長率 (CAGR: Compound Annual Growth Rate) は14.6%で、2024年の同支出額は、1,971億円になるとIDCは予測しています。

IDCでは、IoTの基本アーキテクチャとして「IoTの3層モデル」を定義しています (図1)。この定義に従い、2020年の国内IoTコアインフラ市場の支出額は、前年比1.7%増の678億円、2019年~2024年のCAGRは10.9%、2024年の支出額は、1,117億円になると予測しています。一方、2020年の国内IoTエッジインフラ市場の支出額は、同11.9%増の371億円、同CAGRは20.9%、2024年の支出額は、854億円になると予測しています。

IoTの普及と共に、IoTデータの分析処理が多様化し、レイテンシー (処理応答時間) やセキュリティの観点から、IoTエッジ層でのデータ分析処理を志向する企業が増えてきています。今年、IDCが実施したユーザー調査でも、IoTコアインフラとIoTエッジインフラに対する予算配分は、今後3年間でIoTコアインフラの割合が減少し、IoTエッジインフラの割合が増加するという結果が得られています。このことから、国内IoTインフラ市場全体における、IoTエッジインフラ市場の構成比は、2019年の33.2%から、2024年には10.1ポイント上昇して43.3%になるとIDCは予測しています。

なお、国内IoTエッジインフラ市場のうち、Computeサブセグメント市場については、汎用サーバーとIoTエッジ専用製品に分けて市場予測を行っています。これによると、2020年の汎用サーバーの支出額は、前年比3.7%増の68億円、2019年~2024年のCAGRは4.5%、2024年の支出額は、81億円に

なると予測しています。一方、IoTエッジ専用製品の支出額は、同16.4%増の93億円、同CAGRは32.7%、2024年の支出額は、328億円になると予測しています。

IoTエッジインフラの設置場所は、エッジマイクロデータセンター（基幹データセンター以外のデータセンター）のように、空気が清浄され、室温が調整された空間ではなく、工場内製造ライン近くや屋外といった過酷な環境になるケースが増えると想定しています。IDC Japan エンタープライズインフラストラクチャリサーチマネージャーの[下河邊 雅行](#)は「IoTエッジインフラにおけるデータ分析処理のニーズが高まり、耐環境性を有するIoTエッジインフラとして、IoTエッジ専用製品の需要が今後拡大する。IoTインフラベンダーは、IoTエッジ専用製品のラインナップを強化し、IoTインフラビジネスの拡大を図ることが必要である」と述べています。

今回の発表はIDCが発行した[国内IoTインフラストラクチャ市場予測、2020年～2024年：産業セクター別および主要IoTユースケース別](#)にその詳細が報告されています。本レポートは、国内IoTインフラ市場について、IoTコアインフラ市場、IoTエッジインフラ市場別に市場分析を行っています。また、各セグメントにおける、Compute、Storage、Networkのサブセグメント別市場予測を行っています。IoTエッジインフラ市場のComputeサブセグメントについては、汎用サーバーとIoT

エッジ専用製品を分けて市場予測を行っています。

さらに、本レポートでは、国内IoTインフラ市場を、産業セクター別（製造／資源セクター、流通／サービスセクター、公共／インフラ／金融セクター、個人消費者セクター）に分類して市場予測を行っています。そのうち、製造／資源セクターについては、主要IoTユースケース別（製造オペレーション、製造アセット管理、製造業フィールドサービス）の市場予測を行っています。詳しくは、本レポートをご参照下さい。

#### < 参考資料 >

図1. IoTの3層モデル

Figure 1



Note: IoTエンドポイント層で使用されるセンサー、デバイスなどは、現時点では調査対象外としている。よって、国内IoTインフラ市場とは、IoTコアインフラ市場とIoTエッジインフラ市場の2つのセグメントを合算した市場を表す。

Source: IDC Japan, 6/2020

### IoTインフラストラクチャ市場の定義

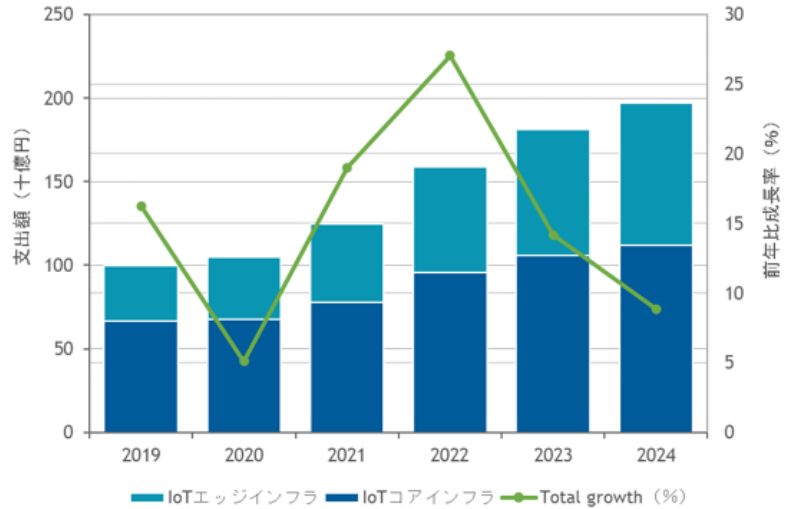
- IoTコアインフラストラクチャ市場 ( IoTコアインフラ市場 )
- Compute : 汎用サーバー
- Storage : 汎用ストレージ ( External, Storage Expansion )
- Network : イーサネットスイッチ、ルーター
- IoTエッジインフラストラクチャ市場 ( IoTエッジインフラ市場 )
- Compute : 汎用サーバー、IoTエッジ専用製品 ( IoT Edgeサーバー、IoT Edge PC、IoTゲートウェイ )
- Storage : 汎用ストレージ ( External, Storage Expansion )
- Network : イーサネットスイッチ、ルーター、産業用PC、PLC ( Programmable Logic Controller、PLCは、IoTゲートウェイ機能を有するもの )

なお、筐体に収容されていない、組み込み用PC ( エンベデッドPC ) は、調査対象外としている。

Source: IDC Japan, 6/2020

図2. 国内IoTインフラストラクチャ市場 支出額予測、2019年～2024年

Figure 2



Note: 本市場予測は、2020年3月末時点における新型コロナウイルス感染症 ( COVID-19 ) の影響および見通しを考慮したものである。

Source: IDC Japan, 6/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com). All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan  
 jp-press@idcjapan.co.jp  
 +81-3-3556-4768